


ロビー


1階展示室


3階展示室

つなぎ美術館は、熊本県水俣・葦北地域における芸術文化活動の拠点として2001年4月に開館した津奈木町立の美術館です。第2次海老原美術研究所の所長を務めた境野一之をはじめとする熊本県ゆかりの作家による作品やタイ山岳民族の衣装など約450点を収蔵し、常設展を通じて公開するとともに、ジャンルにとらわれないさまざまな企画展を開催しています。また、ワークショップを実施し、地域資源を活用したアートプロジェクトにも取り組んでいます。

野外彫刻群

津奈木町では1984年から「緑と彫刻のあるまちづくり」に取り組んでおり、町内の要所には佐藤忠良の作品をはじめとする15点の彫刻が展示されています。


岩野勇三《爽風》


佐藤忠良《ひまわり》


笹戸千津子《シャツブラウス》

INFORMATION 利用案内

開館時間
10:00~17:00（入館は16:30まで）

休館日
水曜日（祝日の場合は翌日）、12／29~1／3
※臨時休館する場合がございます。

観覧料
展覧会によって変わります。
※水俣市・葦北郡内の学校による利用は事前申請により無料。

喫茶室
10:00~16:30
※臨時休業する場合がございます。

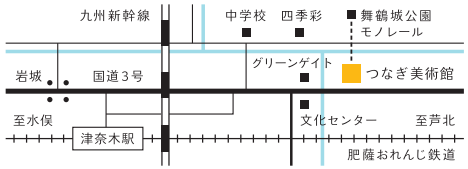
駐車場
13台
※つなぎ文化センターの駐車場もご利用いただけます。

モノレール
往復300円　片道200円
※臨時運休する場合がございます。

美術館と舞鶴城公園展望所を結ぶモノレール（全長241m最高勾配33度）で片道5分のミニトリップが楽しめます。同展望所には野外彫刻が設置されており、晴れた日には不知火海が望めます。



ACCESS アクセス





▶ 肥薩おれんじ鉄道・津奈木駅から徒歩10分
▶ 南九州西回り自動車道・芦北I.C.から車で20分
▶ JR九州新幹線・新水俣駅から車で10分

つなぎ美術館
TSUNAGI ART MUSEUM
〒869-5603　熊本県葦北郡津奈木町岩城494
TEL:0966-61-2222　FAX:0966-61-2223
http://portal.kumamoto-net.ne.jp/town_tsunagi/

つなぎ美術館
TSUNAGI ART MUSEUM

2013.4-2014.3 SCHEDULE& INFORMATION

展覧会スケジュール／施設案内


中村賢次《秋光》2008年 つなぎ美術館蔵

2013-2014 SCHEDULE 展覧会スケジュール



赤崎水曜日郵便局

映画監督としても活躍する遠山昇司をディレクターに迎え、閉校となった海の上の小学校を拠点にアーティストと住民が人々の日常を全国に向けて発信するアートプロジェクト。自身の水曜日の物語を送ると誰かの水曜日の物語が届く、ちょっと不思議な赤崎水曜日郵便局は6月開局。詳細はホームページなどでお知らせします。

参加アーティスト／五十嵐靖晃　加藤笑平　玉井夕海　古家優里
主催／つなぎ美術館　赤崎水曜日郵便局実行委員会
助成／(公財)水俣・芦北地域振興財団
HP／http://akasaki-wed-post.jp

4 April
5 May
6 June
7 July
8 August
9 September
10 October
11 November
12 December
1 January
2 February
3 March

1F 1F展示室


1957年 福岡・北九州市 井上孝治写真館蔵

4/27(土)〜7/15(月・祝)
こどものいた街　井上孝治写真展

関連プログラム　記念講演会「父、井上孝治が撮った昭和」
5／19(日) 14:00〜15:00

卓越した画面構成で昭和の街を撮り続けた聾唖のカメラマン井上孝治。1950年代から60年代にかけての活力に満ちた人々の暮らしぶりを子どもたちの姿とともに紹介します。


1954年 福岡・春日市 井上孝治写真館蔵

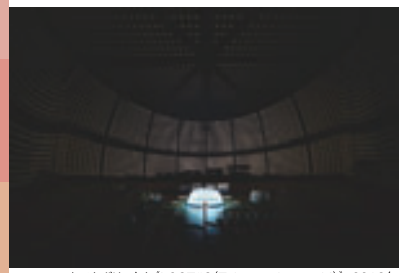
有料

7/18(木)13:00〜7/23(火)14:00　松村誠也絵画展　※作家主催

無料

8/1(木)〜8/25(日)　熊本の現代作家展'13(収蔵品)

坂本善三、宮崎静夫、浜田知明、秀島由己男など熊本を代表する作家の作品を紹介します。


クワクボリョウタ《LOST#8(Tokyo makunouchi)》2012年
※参考作品

9/7(土)〜12/1(日)
赤崎水曜日郵便局開局記念展
一年目の消息 ——語りかけることができる『君』

関連プログラム　トークショー、ワークショップ、講演会、コンサートなどを開催します。詳細はホームページまたは展覧会のチラシでお知らせします。

アートプロジェクト「赤崎水曜日郵便局」の開局を記念する展覧会。クワクボリョウタ、下道基行、淺井裕介が地域を素材に新たに制作した作品を紹介します。


淺井裕介《土のこだま・阿蘇・天草》2011年 Photo by Masaki Miyai
※参考作品

有料


会場風景

12/7(土)〜1/13(月・祝)
葦北郡小中学校子ども美術展

葦北郡小中学校図工・美術担当者会主催の展覧会。地域の小中学生が授業で取り組んだ絵画約400点を展示します。

無料


《朝凪》1980年代 つなぎ美術館蔵

1/25(土)〜4/20(日)
境野一之展
抽象世界へのいざない'14(収蔵品)

海老原喜之助の跡を継ぎ第二次海老原美術研究所の所長を務めた境野一之。旧満州(現中国東北部)や熊本での体験をモチーフにした詩情あふれる作品を紹介します。

有料

掲載内容は変更になる場合がございます

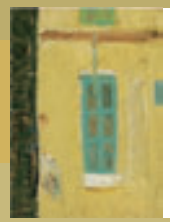
3F 3F展示室

U-39 KUMAMOTO

7/20(土)〜8/18(日)
楠田諭史展　Memoria

熊本ゆかりの若手作家の作品を紹介する「U-39KUMAMOTO」。今回は絵画の知識を基に写真とデジタル技術を駆使して創作活動を続ける楠田諭史の作品を紹介します。

無料



12/21(土)〜2/16(日)
境野一之ヨーロッパの風景画展(収蔵品)

境野一之が欧州旅行での体験をもとに描いた油彩画などを紹介します。
《ホテルの窓より》1964年 つなぎ美術館蔵

無料

3/1(土)〜4/20(日)
タイ山岳民族 アカ族とヤオ族の衣裳展(収蔵品)

「タイ山岳民族の衣裳とくらし」展の(2002年)の開催にあたり、現地で収集した資料の中からアカ族とヤオ族の衣裳を紹介します。

無料